

授業科目	*助産学実習Ⅱ(正常逸脱)					実務家教員担当科目	○
単位	3	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	前田 幸、杉浦 絹子、古賀 玉緒、山田 恵、新郷 朋香						
授業概要	<p>正常から逸脱した対象を受け持ち、助産過程を展開し、実践能力を養う。</p> <p>本科目では正常から逸脱した対象及びその家族を対象に妊娠期から退院後までの継続した助産ケアを通し、対象の状態に応じた個別的なケアを提供するために必要な知識・技術・態度を修得する。</p> <p>また、これらの実践を通し、チームの一員として多職種との連携や協働することの必要性や専門職としての助産師（看護職）の役割や態度を学修する。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として臨床で助産師として実務経験を有する教員と臨床実習指導者が調整しながら、実習指導を行う。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法	実習				

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	実習要項参照 1. 対象の正常からの逸脱状態について根拠に基づき説明できる。(DP2-1) 2. 正常逸脱経過にある母子とその家族に対し、助産ケアを指導者とともに安全・安楽に実施できるもしくは、説明できる。(DP2-2) 3. 主体的に意欲をもって実習に取り組むことができる。(DP3-1) 4. 正常逸脱経過にある母子とその家族に対し、倫理観をもって関わることができる。(DP3-2) 5. 周産期の助産ケアにおいて多職種との連携および協働することについて自らの言葉で表現できる。(DP3-3) 6. 実習を通して得た課題に対する解決策を見出すことができる。(DP4-1)
理想的レベル	標準的レベルの1~5を達成したうえで、以下のレベルが達成できる。 1. 対象のニードを把握し個別性をふまえて継続的な視点で助産過程を展開できる。 2. 対象に必要な保健指導を指導者とともに実施できる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合(数値)	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	60%	
発表(口頭、プレゼンテーション)	0	
レポート外の提出物	0	
その他	40%	実習評価表に基づいて評価します

## カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	ナンバリング	MI31403J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題(予習・復習)

1回の目安時間(時間)

予習復習：オリエンテーション内容に関する復習および課題の実施	1
授業計画	

第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習オリエンテーション</li> <li>・実習準備・助産技術演習他</li> <li>・臨地実習</li> <li>・実習のまとめ</li> </ul> <p>(前田・杉浦・古賀・山田・新郷)</p>
テキスト	<p>助産学講座 5 助産診断・技術学 I 第6版 堀内成子他編 医学書院</p> <p>助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア 森恵美他編 日本看護協会出版会</p> <p>助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア 佐々木くみ子他編 日本看護協会出版会</p> <p>助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア 小林康江他編 日本看護協会出版会</p> <p>助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊娠褥婦・新生児へのケア 小林康江他編 日本看護協会出版会</p> <p>根拠と事故防止からみた母性看護技術 第3版 石村由利子編 医学書院</p> <p>病気みえる vol.10 産科 第4版 MEDIC MEDIA</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>日本産婦人科学会他編・監 産婦人科診療ガイドライン 2023 日本産婦人科学会事務局</p> <p>今日の助産 マタニティサイクルの助産診断 第4版 北川真理子他編 南江堂</p> <p>エビデンスに基づく助産ガイドライン－妊娠・分娩期・産褥期 2024 一般社団法人日本助産会ガイドライン委員会 日本助産学会</p> <p>日本版救急蘇生ガイドライン 2020に基づく新生児蘇生法テキスト 改訂第4版 細野茂春監 メジカルビュー社</p> <p>はじめてのNICU看護 宇藤裕子編著 メディカ出版</p> <p>助産学講座 助産診断・技術学II [1]妊娠期 我部山キヨ子他編 医学書院</p> <p>助産学講座 助産診断・技術学II [2]分娩期・産褥期 我部山キヨ子他編 医学書院</p> <p>助産学講座 助産診断・技術学II [3]新生児期・乳幼児期 石井邦子他編 医学書院</p> <p>その他、必要に応じて紹介します。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>評価は、レポート、その他（実習状況、実習取り組み姿勢など）について実習評価表に基づいて行います。</p> <p>実習最終日もくしは実習後に面談を行い、振り返りを行います。</p> <p>全ての実習が終了後、まとめ発表会にて学びを共有します。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>妊娠褥婦と新生児のアセスメントとケアに関する知識と技術を要します。</p> <p>基礎科目・専門科目・支援科目及び助産学基礎実習で学習したことを復習して実習に臨んで下さい。</p> <p>正常からの逸脱状態にある対象者の病態生理の理解につとめ、心理・社会面も含めた助産ケアについて実習を通して学んでください。</p> <p>助産学生として倫理的配慮を意識した行動を心掛けましょう。</p>